

啐啄同機



大阪市立榎本小学校

6月8日

NO、9

お願い

6月4日から10日まで、「歯と口の健康週間」です。以前は、6（ム）月4（シ）日に引っ掛けて「虫歯予防デー」だったのですが、厚生労働省が中心となって「歯と口の健康週間」が設定されました。

本校でも、先週より歯科検診を行っています。目的は、むし歯をはじめ口の病気の早期発見です。奥歯を1本失うと、かみ砕く力の40%を失うと言われています。

ある日の放課後、養護教諭から心配な報告がありました。

「永久歯の治療済の報告書の提出率が非常に悪い。」

「永久歯ですよ。何かの間違いでは。」と聞き返しましたが、事実でした。

歯科検診で、むし歯などが見つかった場合は「治療勧告書」をお渡ししています。お子様が勧告書を持ち帰った場合は、なるべく早く歯科医への受診をお願いします。歯、歯茎は再生することはありません。治療しなければ、C1はC2にC2はC3に、1年で間違いなく1段階悪化します。

虫歯を放置すると、

- 1, 物がうまく噛めずに、消化が悪くなり、栄養の吸収が鈍る。
- 2, 噛むことによる刺激が脳に伝わらず、脳の発育にも影響がある。
- 3, あごの筋肉の発達が阻害され、見た目に影響が出てくる。
- 4, 歯に隙間があると、上手く発音できずに聞き取りにくい言葉になる。
- 5, 奥歯をかみしめることができずに大きな力を出せない。
- 6, 姿勢やバランスに悪影響が出る。
- 7, 1～6の結果、自己肯定感が低くなることもある。

歯は子どもの成長にとって、ものすごく大切です。早めに治療を開始すると、時間、痛み、治療費、全て小さくて済みます。

乳歯の治癒率も聞いてみました。こちらでも100%に遠く及びませんでした。乳歯のむし歯は、永久歯に大きな影響を与えます。永久歯が斜めに生えたり、隙間ができたりと良いことはありません。

「たかが歯、されど歯」です。お子様のためにも、確実な治療をお願いします。

榎本小学校 校長 篠崎 勇

